

項目	内容
名称	ヨウシュヤマゴボウ、ポークウィード、ビショウリク [英]Pokeweed [学名]Phytolacca americana L.
概要	<p>ヨウシュヤマゴボウは、北米原産のヤマゴボウ科の多年草で、高さ1~3 m程度に生長する。根は吐剤として、果実はインク、染料に利用される他、以前は赤色色素としてワインなどの食品に添加されていた。また、早春にとれる未熟な葉は缶詰加工され流通している。</p>  <p>写真提供: 広島大・医歯薬・生薬学研究室</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・トリテルペノイドサポニン、トリテルペン、ベタシアニン、リグナン、マイトゲン、タンニン、フラボノイドなどを含む (101) (PMID:14723347) (PMID:7772833) (PMID:11370291)。</p>
分析法	<p>・根に含まれるトリテルペン配糖体をNMRにて同定した報告がある (PMID:11217119)。 ・茎や未熟性の果実に含まれるベタシアニンをHPLC、LC-MS、MS-MS、NMRにて分析、同定した報告がある (PMID:8688183)。</p>

- ・果実に含まれるベタシアニンをHPLC、MS-MS、HSCCCにて分析、同定した報告がある ([PMID:18374932](#))。
- ・葉に含まれるフラボノイドをクロマトグラフィーで同定した報告がある ([PMID:11370291](#))

有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p> <p>(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館</p> <p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)</p> <p>(101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson</p> <p>(PMID:7772833) <i>Biosci Biotechnol Biochem.</i> 1995 Apr;59(4):683-8.</p> <p>(PMID:11370291) <i>Acta Pol Pharm.</i> 2001 Jan-Feb;58(1):69-72.</p> <p>(PMID:11217119) <i>Chem Pharm Bull.</i> 2001 Feb;49(2):246-8.</p> <p>(PMID:8688183) <i>Phytochemistry.</i> 1996 Jul;42(4):1039-46.</p> <p>(PMID:18374932) <i>J Chromatogr A.</i> 2008 May 9;1190(1-2):63-73.</p> <p>(PMID:7244729) <i>South Med J.</i> 1981 May;74(5):639-40.</p> <p>(PMID:7709598) <i>Vet Hum Toxicol.</i> 1995 Feb;37(1):66-7.</p> <p>(PMID:10565855) <i>J Pharmacol Exp Ther.</i> 1999 Dec;291(3):1301-7.</p> <p>(2011133558) 中毒研究. 2010;23(4):349-50.</p> <p>(NA30430396) 日本小児救急医学会雑誌. 2013;12(2):316.</p> <p>(2007298585) 食品衛生学雑誌. 2007;48(2):J204-5.</p> <p>(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)</p>